

七尾市における農業者年金加入推進の取り組みについて

1. 七尾市の農業の概要

- ・水田が 3,040ha、畑が 377ha であり、水田が農地の約 9 割を占めている。
- ・古くから米どころであり、品種は「コシヒカリ」が主であり県内有数の収穫量がある。また、七尾市のふるさと納税の返礼品としても好まれ、返礼品の中でも令和元年度 1 位、令和 2 年度は 2 位を占め、特産品として誇れる品となっている。
- ・野菜は、大根、ねぎ、白菜、玉ねぎ、茄子などの収穫量が多く、このほか「能登伝統野菜」として、中島菜、沢野ごぼうをはじめ、金糸瓜、かもうりなどが生産されています。
- ・総農家数 2,637 戸、農業就業者 1,926 人（うち女性農業者は 900 人、40 代以下は 81 人）、認定農業者 127 経営体。【2015 農林業センサスより】

2. 新規加入実績

年度	実績（政策支援）	加入状況	備考
平成 28 年度	2 人（2 人）	認定農業者 家族協定の妻	農業委員、事務局を通じて加入
平成 29 年度	2 人（2 人）	認定農業者 家族協定の妻	農業委員、事務局を通じて加入
平成 30 年度	1 人（1 人）	認定農業者	認定農業者向けの研修会を通じて加入。
令和元年度	1 人（0 人）	農地利用最適化推進委員	研修会を通じて加入。
令和 2 年度	2 人（0 人）	農業委員 家族経営の子の妻	研修会を通じて加入。 推進部長の声掛けにより加入

3. 加入推進の基本的な考え

- ・加入推進にあたっては、次の 2 点を大切に留意している。
 - ①農業委員・推進委員が農業者年金制度について理解し、地域の農業者に直接働きかけること。
 - ②JA と農業委員会が連携して加入推進を図る。

4. 加入推進の取り組み

(1) 加入推進対象者名簿の作成

- ・ 農業委員会事務局で作成し、会議で名簿追加、削除。JA と情報共有している。

(2) 研修会（講師：石川県農業会議）

- ・ 平成 30 年 1 月 農業委員・推進委員合同研修会
- ・ 平成 30 年 11 月 認定農業者、加入推進部長、JA 職員 1 名、事務局
- ・ 令和 2 年 11 月 加入推進部長、副部長、JA 職員 2 名、事務局

(3) 戸別訪問及び個別相談会

- ・ 令和 2 年度は加入推進月間（11 月～12 月）を設けて、加入推進部長を中心に地域や知人に声かけを行う。令和元年までは 1 班体制。令和 2 年度から 2 班体制で巡回
- ・ 令和 3 年度は年払いの方が社会保険料控除を当該年度の申告時に控除を受ける人のことも考え、繁忙期を避けて 10 月～11 月に推進月間設定予定。
- ・ 興味を持った対象者には個別に説明会を開催。必要があれば、石川県農業会議の方に出向いてもらっている。

5. 実績が伸びた要因・今後の課題

(1) 実績が伸びた要因

- ・ 推進部長・副部長が戸別訪問を何度も行い、説明までこぎつけることが出来た。また、農業委員、推進委員に研修を通じ、チラシを 5 部ずつ持たせて地域で積極的な声かけを依頼した。
- ・ 令和元年度は農地利用最適化推進委員 1 名、令和 2 年度に農業委員 1 名が加入。
- ・ 年金研修会で理解不十分だった点を、独自で勉強会（農業会議職員講師）を開催したことで、さらに理解を深めることができた。
- ・ 説明する側の知識を向上させたことで加入者側も納得し、安心して加入した。

(2) 今後の課題

- ・ 政策支援だけでなく、節税対策なども含め、農業者のニーズにあわせた働きかけが必要になる。
- ・ 農業者年金制度を知らない農業者（特に若い農業者）が多いため、制度の周知について検討を行う必要がある。

「年間に最低 2 人の新規加入者の確保」に向け、今年度から、加入推進カバンを準備し、パンフレットや戸別訪問の記録など訪問セットを活用して加入推進を進めていきたいと思っております。